

『乳児クラスの保育参観・

親子触れ合い遊びの会アンケートより』

1月20日(土)開催の乳児の保育参観・親子触れ合い遊びの会終了後のアンケートより抜粋しました。

◆保育参観感想より

・初めはいつもと違う雰囲気にも固まっていたのですが、絵本やスライドショーの時「みて！」と指を指したり少しずつ楽しむ姿も見られ、お友だちと触れ合う姿や普段の生活も感じられました。スライドショーの時一人ひとりの成長を話して下さり普段から愛情いっぱい関わってくださっているのを改めて感じました。(0歳児)

・親子クッキング大根もち、さつま芋もちおいしそうに食べていたので家でも作ってみます。(0歳児)

・映像で普段の(食事、着替え)についても知ることができ、先生方の名前もはっきり理解できたのでよかったです。(1歳児)

・参観日でいつもと違う雰囲気の中で、いつもより落ち着きがなかったかもしれませんが、色んな先生の所に行ってハグしおんぶしてもらっていて先生と娘の信頼関係が築けているからこそだと思いました。(1歳児)

・先生方が伸び伸びできるよう子ども達と接して下さるのでとても好奇心旺盛で心優しく育てているように思います。安心して仕事に行けます。(2歳児)

・温かい雰囲気の中で我が子の成長や他の子どもさんの成長も振り返ることができました。顔つきや行動がお兄さん、お姉さんになっていて、それを見ている他の親御さんの顔もとても穏やかで、大変なことや喜びがたくさんあったなあと振り返ることができました。(2歳児)

◆親子触れ合い遊びの会(阿部玲子先生)の感想より

・家に帰ると「もう1回!」「もう1回」と触れ合い遊びをおねだりせれました。(0歳児)

・自分では思いつかないようなあそび方が多くあり、参考になりました。今しかできない動きもあり、今のうちにたくさん楽しもうと思いました。(1歳児)

・講師の先生の元気な声かけで子ども達も真剣な眼差しで取り組んでいました。親子ともにマイペースなところがありますが、ビシッと身も心も引き締まりながら俊敏な動きを鍛えていただき、気持ち良かったです。(2歳児)

令和6年 2月の保育園だより

『どうする〇〇!』

～今何をしたら良いかが分かる子に～

大寒を過ぎ、立春を迎えようとしていますが、メダカ池や子ども達のあそんだ後のどろんこが凍結していることから朝晩の冷え込みは厳しく、保護者の皆様も送迎時には凍結による転倒防止やスリップなど配慮されている毎日だと思います。

先月、新型コロナウイルスやインフルエンザA型の発症など、何件かの報告を受けました。クラス、保育園で広まることはない状態は続いておりますが、今後も予断は許さない状況です。感染拡大予防には努めながら、子ども達には保育園の中で興味や関心を広げ、探究したり、友達との関係性の中で新しいことにチャレンジしたり、何かに挑戦ながら、試行錯誤する姿に寄り添いながら、年度末の残り2カ月に向け、楽しい保育を展開できるあそび環境を準備していきたいと思っております。

先月28日(土)に、乳児クラスの保育参観を開催いたしました。たくさんの保護者の皆様にご来園いただき感謝申し上げます。各年齢とも生活やあそびの一端を参観していただき、一年間を動画や写真で振り返りながら、一人ひとりの成長も確認し合っていたくことができました。

親子触れ合いあそびの会では、講師の阿部玲子先生より保護者の皆様の身体を利用しながら、親子が触れ合えるあそびのヒントをたくさんいただきました。

保育参観後、職員との振り返りの中で(職員研修)、子ども達の中にスマートフォンやゲーム機でゲームやインターネットを見たり、食事の時や絵を描いたり、文字を書く時など、肘をついたり、椅子や机にすがらないと身体を保持できない、気になる子ども達が増えているとのお話がありました。

確かに、猫背、首を前にまげて顎出しや腹の突き出し、体のバランスの悪さ、下半身や上半身の硬さからしゃがむことができなったり、両手がまっすぐ上に伸ばせ

なかつたり、膝を伸ばしたまま両手の指が床につかなかつたり、グーパーなどの指や手の動作がスムーズにできない子ども達の多くは、姿勢の保持や体幹が弱く、集中力も途切れがちです。

乳幼児期に、上半身の肩甲骨や下半身の股関節をしっかりとあそびの中で意識し、継続的に指導計画の中に取り入れていくことの大切さを研修の中でも感じたところです。

乳児期の大人との愛着関係の大切さを以前園だよりの中でも触れたことがありますが、肩甲骨や股関節の柔軟性や体幹などの姿勢を保持する力は、脳の発達とともに、生きる力の中で大切な対話力や自己肯定感、自己コントロール力など、柔軟に物事を考え、解決する状況判断力や自己決定力などにも影響がありそうです。

NHKの大河ドラマ『どうする家康』が嵐の松本潤氏の主演で話題になっておりますが、脚本家の古沢良太氏は歴史上の人物の徳川家康を「ナイーブで頼りないプリンス」と解釈し、波乱万丈で、ピンチピンチの連続の人生を運や腹の括り方、頭の良さ、周りに助けられながらなんとか生き延び成長し、戦国の時代に終止符をうって260年以上続く江戸幕府を開いた姿を描きたいと、ヒストリーブックの中で記されていました。私は状況判断力が長けていた徳川家康への解釈の仕方が、現在の生き方への示唆にも繋がるように感じて、一年間の展開を楽しみにしているところです。

微妙福祉会松尾龍一理事長が、園内報みまよう62号の中で、人生をいかに生きるかが決まる乳幼児期に「今何をしたら良いかが分かる子に」するために、「楽しい!」をキーワードに「質の高い保育」を目指す職員集団の育成の重要性を記されていますが、「その時どうする!」という状況判断力を身に付けることのできる生活やあそびの環境を職員とともに、意識したいと思っています。(園長)

坂みみよう保育園

幼児クラスの保育参観(あそびの広場)について

幼児クラスを対象に今年度最後の保育参観(あそびの広場)を下記の日程で開催いたします。

なお、今回は坂町生涯学習課との共催で、にいみ木のおもちゃの会代表の藤本忠男先生をお招きして、「木のおもちゃと科学あそび」を親子又は異年齢で楽しもうと企画しています。いろいろなあそびのコーナーに自ら関わる子ども達の様子を見たり、保護者の皆様も一緒にあそびの面白さを体験していただいたりできたらと思っています。

日時 2月17日(土曜日) 終了は11時の予定

① 年長(ふじ・ひまわり) 午前9時集合

② 年中(すみれ・ばら) 午前9時30分集合

年少(ちゅうりっぷ・れんげ) //

※未入園の乳幼児の託児がありますので、申込期間中に託児申込をご提出ください。在園のきょうだいは終了時間まで保育をいたしますので担任までお知らせください。

令和5年度の新入児入園説明会、及び面接について

日時: 2月20日(火) ①10時～・②13時～

場所: 坂みみよう保育園2Fホール

次年度は乳児クラスが0,1,2歳児クラスとも定員を超える申し込みがありましたので、坂町役場より内定通知のありました方だけに、入園説明会や面接の案内を2月中旬頃までには発送いたしますのでご確認ください。

保護者会さくらんぼ会

令和6年度役員募集中!!

2/3日(土)までに、役員選出事前

アンケートにお応えの上、アンケート

ボックスにお寄せください。